ふれあい清和

発行：
君津市清和地区
社会福祉協議会
編集：広報委員会
電話：(37) 2610

楽しかった合同食事会

清和地区社会福祉協議会では、一人暮らしの高齢者への食事サービスを夏季期間を除き、年10回提供しています。

このうち、春と秋の2回は希望者を募り、「合同食事会」を開催しています。

今年は、5月25日に第1回の食事会を清和公民館で行いました。

対象者は約20人のうち、今回は6人の出席でしたが、調理や配食ボランティアの方など関係者を含め約30人が参加しました。

食事会当日は11時に開会。あいさつに続き、クイズやゲームを楽しみました。

当日参加できない方には、通常通りお弁当をお届けする関係から、スタッフ全員が帰館した後、食事となりました。

提供する食事は、毎回旬の食材を中心に調理したお弁当で、カップに入った味噌汁と果物や乳製品が添えられます。いずれも調理と配食担当の方々がボランティアで担当しています。

昼食終了後、午後のプログラムがスタート。はじめに紙芝居を行いました。地元、清和に伝わる民話や昔話を題材にした手作りの紙芝居だけに、身近な楽しい内容に会場内が笑顔に包まれました。

次に、パラリンピックの種目としてお馴染みの「ボッチャ」を、今回はじめて実施しました。3人1組のチーム対抗戦では、老若男女を問わず楽しめるレクリエーションとして、とても好評でした。

最後に実施したのは、毎回行っている参加者全員による「ビンゴゲーム」です。

用意された賞品は、順次参加者全員に行き届きました。

午後2時30分、楽しい食事会も終了です。参加された方々から感謝の言葉や、お礼などたくさんの感想が寄せられました。

一人暮らしの皆様は、日常生活の中でも、会話や交流の機会が少なく、こうした身近な地域での交流の場を喜んでいただけたことと思います。

なお、次回の合同食事会は、9月28日の予定です。

事前に対象者の皆さまにお知らせいたしますので、お誘い合わせて、ぜひご参加ください。（佐）

㈱モリデンキより多額の御寄付を戴く

6月5日、㈱モリデンキにより、創業50周年記念のゴルフコンペが盛大に開催されました。

その祝賀会場で森幸治社長から清和地区社会福祉協議会へ10万円の御寄付を戴きました。

㈱モリデンキからは、毎年御寄付を戴いており、地区社会福祉協議会としては、高齢者福祉基金として積み立てて、敬老会などの高齢者への福祉事業の一部に使わせて戴いております。

また、今回は創業50周年と森秀夫会長の古稀（70歳）の祝賀会でもありましたので、清和無形民俗文化財保存会6団体（鈴木宗男代表）へも各々寄付が贈呈されました。

清和地区の伝統芸能の継承に役立てて戴きたいとの趣旨であります。

地区社会福祉協議会、無形民俗文化財保存会共々、ありがたく感謝申し上げます。（鶴）

いきいきこの人

根岸 林二さん（87歳）
豊英在住

今号は豊英の根岸林二さんをお訪ねしました。奥様は十数年前に73歳の若さで急逝され、現在は一人暮らし。3人のお子さんは千葉市や君津地区等に在住で、何か困った事が起きれば、駆けつけてくれるとのこと。「今の所は、特に心配はない」とのお話です。

「お元気の秘訣は？」の問いに「これと言って特別ないが、出来るだけ毎日、体を動かす事ぐらいかな」とのお話に続いて、「実は私がこうして元気で過せる一番の秘訣は、ご近所のお蔭なんですよ。とても有難く感謝しています。というのも食事の面で、週5日はご近所から美味しいおかずが届くんです。本当に有難い事です。」と心からお話する根岸さん。笑顔でお話しされるお言葉からお人柄を感じました。

「若い頃のご職業は？」と問いますと、「昔は炭焼きをしていましたが40歳の時、市内の日本金属㈱に入社し、65歳迄勤めました」との事。ご苦労様でした。

「今、一番思い出に残る事は？」と伺うと、「それがね、私は旅行が好きで、以前はよく出かけてました。特に海外にはよく行ったなぁ…。ニュージーランドが気に入り、何度か行ったし、東南アジア方面でフィリピンには私の兄が戦死した所なので、墓参りも兼ねて何度となく行きました。女房とは主に日本国内でしたね。」お話しするご様子に、思い出づくりの大切さを学ばさせて頂きました。

矍鑠（かくしゃく）としたお姿を拝見し、いついつ迄もお元気でとの思いを残し失礼しました。沢山のお話を有難うございました。

（岡・小・澤）

楽しかった！ふれあい見学会

梅雨最中の6月15日の朝、あいにくの天候にもかかわらず、清和公民館に集まった熟年25名は、挨拶もそこそこに、にわか天気予報士に早変わり。

「鹿野山が近くに見えるから大丈夫だ」「靄が下りているので怪しい」と、口々に話をしているうちに、バスのドアが開いて、全員が元気よく乗り込んだ。途端に新車の匂いが鼻に飛び込み、新鮮な気持ちを覚えた。

いよいよ大多喜竹ゆらの里経由、太陽の里行きのバスの旅の始まりである。

バスのドアが閉められると、車内は一人暮らしの高齢者の「社交の場」と化した。一行を乗せたバスは竹ゆらの里目指し走り出す。

山裾を縫うように走り、定刻より早めの到着であった。

早々に休憩時間を終え、再出発。

再びバスは社交場と化し一宮を経由して一路太陽の里を目掛けた。

11時丁度に目的地に到着して早速の記念写真。みな5歳若く写り込み、出来上がりが楽しみである。

早速、食事会場に導かれるままに入場したが、県民の日でもあり、普段より多目の客の中、釜飯に舌鼓。まさに「同じ釜の飯」では無く、「同じ形の釜の飯」を食しているうちに、拍子木が響き芝居の始まり。人情物を目の当たりにし、子どもの頃の芝居小屋を思い出す。

芝居をそこそこに、お土産を手にしての土産談義の後、手に手に土産を提げて帰路のバスに乗車。

ドライバーのハンドル捌き良好で、早めの帰着。

雨も上がり、鹿野山がやけに大きく見えた。

皆さんお疲れ様でした。

ドライバーさんありがとうございました。（風来坊・渡）

30年度の主な予定

○一人暮らし高齢者向け○

【食事サービス】
毎月第２・４金曜日
※65歳以上の希望者
※７月・８月は除く

【合同食事会】
５月25日（金）
９月28日（金）

【ふれあい見学会】
６月15日（金）

○高齢者向け○

【健康生活支援事業】
９月28日（金）
１月23日（水）
２月15日（金）

○小学生と高齢者との交流○

【多世代交流】
10月30日（火）
１月12日（土）

○高齢者を演芸で慰労する○

【敬老会】
10月11日（木）

○理事・評議員・ボランティア○

【合同視察研修】
11月15日（木）

○活動内容のお知らせ○

【広報紙（会報）発行】
８月・12月・３月

君津市清和地区社会福祉協議会

新体制スタート

平成三十年度清和地区社会福祉協議会評議員会議（定期総会）が五月二十六日に開催されました。

今年度の役員が報告され、事業計画及び予算が承認されました。

今年度も地域のみなさまにご協力をいただきながら、住みやすい地域づくりを目指していきます。

【会　長】鶴岡　英夫
【副会長】鈴木　健司
　　佐藤　利則
　　加藤　文子
【庶　務】三田　正義
　　相川　敏子
【会　計】石井　治子
【監　事】川俣　三郎
　　奈良輪　尉
【顧　問】真木　好朗
　　奈良輪政五
　　鈴木　啓史
（敬称略）

委員会活動紹介

シリーズ①広報委員会

協議会では、充実した事業を展開していくため、企画・食事サービス・広報の３つの委員会が活動をしています。今号から３回にわたり紹介します。

広報委員会では魅力ある広報を行えるように、６名の委員が知恵を出し合い、年３回の広報紙「ふれあい清和」の発行を中心に活動しています。

多世代交流のように子供から高齢者まで仲良く元気に時間を過ごす様子や、食事サービスや敬老会などは、たくさんのボランティアの協力により地域一体となって活動している様子など、協議会の目的である地域福祉向上を目指した各種活動をお知らせしていきたいと思います。

活力ある清和をお伝えするために、寄稿やコメントのお願いをさせていただくこともありますので、ご協力をお願いします。